

## 著者校正用チェックリスト

著者校正の段階において、以下に列記する見落としが散見されます。著者の責任において、隅々まで誤りがないか確認し、各項の左端チェック欄に☑を入れて著者校正原稿とともに印刷所へ返送して下さい。**校正が不十分な場合、論文の掲載が次号以降となることがあります。**

注) 筆頭著者が大学院生等の場合、指導教員もしくは担当責任者が、本チェックリストに基づく最終チェックを行った後、署名捺印して下さい。英文の投稿論文についても本チェックリストに準じて下さい。

論文題名：

|            |    |   |
|------------|----|---|
| 筆頭著者       | 氏名 | 印 |
| 指導教員 (責任者) | 氏名 | 印 |

### 1. 標 題

- 英文標題において、前置詞、接続詞、冠詞以外は単語の先頭文字を大文字とする。
- 単語と単語を - (ハイフン) で結ぶ場合、ハイフンの前の単語のみ大文字にするか、前後の単語を大文字にするかは、著者自身で判断して表記を統一する。

### 2. キーワード

- 英語はすべて小文字とするが、固有名詞は最初の文字のみ大文字とする。

### 3. 発表実績、会員資格の有無、著者の所属

- 筆頭著者および責任著者(Corresponding author)は農業食料工学会の個人会員である。
- 著者が個人会員の場合、会員種別に関わらず、和文投稿では会員、英文投稿では Member と記載する (学生会員あるいは Student Member とはしない)。
- 共著者が会員でない場合、非会員とは記載せず、所属から記載する。
- 所属の英文表記に誤りがない。
- 住所の英文表記に誤りがない。
- 著者の所属に異動があった場合の表記に誤りがない。
- Corresponding author の記載 (電子メールアドレス等) に誤りがない。
- 誤植がない (例 (地名) : Hokaido, Sapporo etc.)。

### 4. 数式及び記号

- ギリシャ文字及びイタリック体等の指定に見落としがない。
- 本文中だけでなく、図や表に現れる記号にも注意を払う。
- 英数文字はすべて半角とする (上付き、下付き文字を含む)。
- 変数 (ギリシャ文字を含めて) はイタリック体とする。
- 単位 (m, N など), 関数 (sin, log など), 数字 (1, 2, 3 など) はローマン (正体) とする。

### 5. 引用文献、参考文献

- 和文投稿において、和文文献は日本語で、英語文献は英語で記す。
- Reference ではなく References と記す。
- 英語表記における著者の姓と名の順序に間違いがない。
- 西暦の挿入位置が正しい。
- 雑誌 (英語表記) の場合、論文標題は先頭のみを大文字とする。

- 雑誌の場合，論題の主題のみとし副題は省略する。
- 単行本（英語表記）の場合，前置詞，接続詞，冠詞以外は単語の先頭文字を大文字にする（雑誌の場合とは異なる）。
- “in Japanese”等の使い方に誤りがない。
- 雑誌出版社名は，細則に従って記す。
- 本誌を引用する場合，日本語表記では農業食料工学会誌，農業機械学会誌，英語表記では Nogyoshokuryokougakkaishi (Journal of the Japanese Society of Agricultural Machinery and Food Engineers), Nogyokikaigakkaishi (Journal of the Japanese Society of Agricultural Machinery) とする。
- ASABE の引用は，Transactions of the ASABE とする。
- 各文献の最後にピリオドを忘れずに付ける。
- 本文中の et al.の表記について（例 1：Noki et al., 2003, 例 2：MAFF., 2003）上に示した「I」や「F」のあとのピリオドやカンマを忘れずに付ける。
- 連報で投稿して前報が最新号に印刷された場合，次号以降の初校校正時には，その論文の発行年，巻号，頁を忘れずに記入する。
- 単行本の場合，引用箇所あるいは参照箇所のページ番号を記す。

## 6. 摘要

- 番号等を付した箇条書きについては，左 1 文字空けずに書き始め，2 行目からは行の左端をあける。文章の場合は，行頭を左 1 文字空けて書き始める。

## 7. 図，表，写真

- 図中の単位表記方法（数値軸に単位を書く等）に誤りがない。
- 図中の数値軸の単語に誤りがない。
- 図表中のキャプションの単語に誤植がない。
- 図表中のキャプションの英語表記は，先頭の文字だけを大文字とする。

## 8. その他

### 1) 見出し

- 英文投稿の場合，見出しの先頭のみ大文字とする。  
例 1：Experimental details，例 2：Results and discussion

### 3) 下線

- 英語の略語を説明する際に，スペルアウトした単語の先頭文字に下線を引かない  
例 1：FEM (Finite Element Method)，例 2：CFD (Computational Fluid Dynamics)

## 9. 英文要旨 (Abstract) または英文本文

- 初回提出時と大幅な変更がある場合は，ネイティブの学識経験者等による添削を受けた証明書を同封する。

## 10. チェックリスト

- このチェックリストに，署名捺印する。
- このチェックリストを，著者校正終了後，校正原稿とともに必ず印刷所へ返送する。